

令和6年度 自己評価報告書

令和7年5月

学校法人山陽女学園 広島歯科技工士専門学校

評価対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

目 次

1. 学校の教育理念、教育目標・・・・・・・・・・	2		
2. 評価項目別達成取り組み状況			
基準1 教育理念・目的・育成人材像・・・・・・・・	3	基準8 財務・・・・・・・・・・	12
基準2 学校運営・・・・・・・・・・	4	基準9 法令等の遵守・・・・・・・・	13
基準3 教育活動・・・・・・・・・・	5、6	基準10 社会貢献・地域貢献・・・・・・・・	14
基準4 学修成果・・・・・・・・・・	7		
基準5 学生支援・・・・・・・・・・	8, 9	3. 評価項目別の評価結果・・・・・・・・	15
基準6 教育環境・・・・・・・・・・	10	4. 令和6年度 重点目標達成についての総合的な評価結果・・	16, 17, 18, 19, 20
基準7 学生の受入れ募集・・・・・・・・	11	5. 令和6年度 重点目標と達成計画・・・・・・・・	21, 22, 23

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取り組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
- 1 全く対応しておらず不適切、学校の方針から見直す必要がある。

1. 学校の教育理念、教育目標

本校は、『未来に輝く人材を育成する』という理念を教育目標に掲げる学校法人山陽女学園を母体とし、昭和47年に広島県で最初の歯科技工士養成学校として創立された。

〈教育理念〉

教育基本法、学校教育法および歯科技工士法の定めるところに従い、歯科技工に関する知識と技能を身につけ、歯科医師、歯科衛生士とともに歯科医療に貢献できる人材を育成する。

〈教育目標〉

1. 歯科医療従事者としての意識、心構えなどに関わる知識を習得する。
2. 歯科技工の基礎知識と技術を身につける。
3. 実学を重視した実習指導を推進し、即戦力となる人材を育成する。
4. 地域の社会福祉に貢献できる人材を育成する。

2. 評価項目別達成取り組み状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	*学則に定めている。 *ホームページにおいても公表している。
2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	*学則、学校案内において特色を明確にしている。
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	*教育課程編成委員会における提言を参考にして、教育方法を毎年見直している。 *企業と連携して実践的な歯科技工士教育の充実を図っている。
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生や保護者等に周知されているか	4	*入学時に「学生便覧」を配布のうえ、説明をして周知をしている。 *10月の保証人(保護者)懇談会に変えて、学校の現状報告書を送付し周知した。 また、個人面談は希望者に実施した。 *育成人材像を学生に認知させる為に、1年の11月に臨床現場である歯科技工所の見学を実施した。
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4	*今後の社会のニーズに即応して適宜改定していく。 *方向性の参考にするために、毎年1月に前年度卒業生の就業状況等のアンケートを実施している。
【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
特記事項 参考資料	*広島歯科技工士専門学校 学則 *学校案内 *広島歯科技工士専門学校ホームページ https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp *令和6年度 学生便覧		

基準2 学校運営

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	*学校法人山陽女学園の寄附行為のもと、運営方針が策定されている。
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	*事業計画については、各校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で意思決定をしている。
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	4	*学校法人山陽女学園全体の重要事項については、理事会・評議員会において意思決定を行っている。
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	*整備されている。 *就業規則、諸規定はファイルされ、教職員が閲覧可能となっている。 *諸手当について、規程を作成し明瞭にする。
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	*学校法人山陽女学園の運営組織（理事会・評議員会）によって整備されている。
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	*学校法人山陽女学園及び本校の諸規定のもと、法令順守に努めている。
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	*文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学校のホームページにて情報公開している。 (自己点検・評価、学校評価(学校関係者評価委員会の開催実績、教育課程編成委員会の開催実績)、シラバス、職業実践専門課程の基本情報(様式4:認定後の公表様式))
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	*情報のシステム化は少しずつ改善されつつあり、業務の効率化を図るための見直しは、適時行っている。 *成績管理システムを構築した。
【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> *山陽女学園 令和6年度事業報告書、令和7年度事業計画書 *山陽女学園の寄附行為 *広島歯科技工士専門学校 学則など諸規定 *学校運営組織図 *広島歯科技工士専門学校ホームページ https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp 		

基準3 教育活動

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *教育課程編成委員会を年間2回（8月と令和7年2月）開催して、教育課程の編成を見直している。 *学内においても基幹教員により見直しを行っている。
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *学則及び学生便覧に明記し、学生・保証人（保護者）に示している。 *授業開始前にシラバスを配布・説明し周知している。 *デジタル技工の普及に伴い、2年間の修業年限では即戦力の育成は不十分と思われる。
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *教育目標に沿って、実習体系を「基礎」「応用」「企業連携」と編成している。
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *業界のニーズに合った実習教育を目標により実践的（臨床的）なモデルを使用している。 *教育方法を毎年見直している。 *臨床と資格試験の出題基準のギャップを埋めることが出来ていない。
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *教育課程編成委員会（年間2回以上開催）、学校関係者評価委員会（年間3回以上開催）を開催し、提言を頂き授業内容等の見直しをしている。
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *企業連携授業を年間2社及び1団体と協定を結び実施した。（9月と11月及び令和7年2月） *1年生の臨床現場の体験として、歯科技工所の見学実習を11月に実施した。その他、8月2日希望者9名（保護者5名同伴）が呉自衛隊病院を見学した。 *歯科技工所でのインターンシップについては、8月に1社を全員が受けた。 *歯科技工所見学についても、8月に2社以上を全員が見学した。
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	<ul style="list-style-type: none"> *専門科目において、授業終了後「授業アンケート」調査を実施し授業の改善につなげている。 *実習授業については、職員会議等で見直しを行っている。
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *学校関係者評価委員会を年3回（6月と11月及び令和7年3月）開催して外部評価を受けている。

			*外部評価について、卒業生（卒後1年）の就業先の歯科医院や歯科技工所へのアンケート調査を1月に実施した。
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	*学則に定めるとともに学生便覧、シラバスに明記し、学生・保証人（保護者）に示している。 *履修規程の見直し、実技試験の採点基準を整備している。
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	*国家試験合格を目標に、十数回の模擬試験の実施と成績を開示し、目標達成の意識向上に心がけている。
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	*大学、専門学校等から実務経験のある教員を確保している。 *教員募集中である。
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど、マネジメントが行われているか	3	*実務経験のある教員を確保している。 *優れた教員を確保するために求人範囲を広げ、全国の技工士学校や本校同窓会及びハローワークに募集を行っている。
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	*専任教員の多くが各種研修会に参加し、資質向上に取り組んでいる。 *リモート開催の場合は参加しやすいが、対面研修の場合は時間や経費の捻出等で課題がある。
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	*専攻分野における実務に関する研修を4回6名が受講した。 (全国歯科技工教育協議会主催、広島県歯科医学会主催、広島県歯科技工士会主催) *指導力の習得・向上のための研修を6回7名が受講した。 (学校法人先端教育機構主催、障がい児成長支援協会主催、広島県専修学校各種学校連盟主催、全国専門学校教育研究会主催、筑波大学ダボットプロジェクト主催、(株)三菱総合研究所主催) *リモート研修の開催が多く、参加しやすくなり基幹教員の受講回数が増えた。
【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
特記事項 参考資料	*教員の学会、講演、その他の活動状況		

基準4 学修成果

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	就職率の向上が図られているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *進路面談を開催し学生カルテを作成した。 *インターン シップ1社、その他に会社見学を2社以上行った。 *学内合同会社説明会は中止し、5社から送られたポスターの掲示により紹介した。学生は、その後、興味のある会社を見学している。
2	資格取得率の向上が図られているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *歯科技工士国家試験の全国模擬試験を3回（9月と11月及び1月）受験した。 *家庭学習（国家試験問題の宿題）の取り組みを、1年次の後期から行っている。 *個別指導体制がある。
3	退学率の低減が図られているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *定員割れが常態化しており、入学希望者はほぼ全員が入学できる状態である。 *欠席する事に抵抗がなく、学修意欲に欠ける学生が多いように思うので、学生に向き合うように努める。 *課題の進行が遅い学生に対して、放課後に時間を設けることが多かった。 *学業不振、心に病を持つ学生に対し相談にのり、保証人（保護者）とも連絡をとりながら退学者の減少に取り組むように努める。
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *新卒者の動向把握のために、同窓会を通してアンケート調査を実施しているが、返信率は例年約28%である。 *卒業生（卒後1年）の就業先に対して、就業状況等のアンケート調査を1月に実施した。
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *同窓会、歯科技工士会等との連携を深め、研修会等の実施を引き続き進める。 *就業先の就業状況のアンケート調査結果を教育課程編成委員会で報告し、委員の提言を受けながら改善に努めている。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	特になし		

基準5 学生支援

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *ハローワークより職業紹介業務の認可を受け、進路指導担当者を置き体制は出来ている。 *就職担当教員同士及び事務局間での連携が少しずつ改善出来ている。 *提出書類について、教職員の全員が把握するようにする。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *学年担任制をとっており、学生の相談には親身に取り組んでいる。
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *学納金の減免措置等はないが、2期に分納して一度の負担を軽減している。 *今年度、高等教育の修学支援新制度に9名（1年8名、2年1名）が申請し、年間2回に分けて学生に還付することとし、1回目は9月に全員が受領、2回目を令和7年3月に還付した。 *令和7年度新入生を対象に、学校独自の経済的支援制度（入学金の免除等）を設定した。
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	<ul style="list-style-type: none"> *学校医（医師、歯科医師）を置き、胸部X線撮影を4月10日、内科検診を5月10日及び歯科検診を11月27日に行った。
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *新入生歓迎のレクレーション（5月2日）、遠足（6月7日）等を実施した。 *学生が親睦目的の行事（おでん会、クリスマス会）への会場提供やサポートをした。 *「学生災害傷害保険」に加入し、授業中や通学中及び学校行事における事故等に備えている。
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *専任教員が積極的に相談に乗っている。 *山陽女子短期大学の専門のカウンセラーに、相談に乗って貰う体制はある。
7	保護者と適切に連携しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *無断欠席の場合は、保証人（保護者）と学生に連絡を取り、状況の把握と相談に努めている。 *10月26日（土）に保証人（保護者）懇談会は中止としたが、個人面談を希望する保証人に面談と成績表及び出席状況表を渡した。 また、学校の現状報告については書面で通知した。
8	卒業生への支援体制はあるか	4	<ul style="list-style-type: none"> *卒業生に対する就職相談等を行う体制はできている。 *各種証明書（卒業証明書、成績証明書、在籍証明書等）を発行する体制はある。
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *教育訓練給付制度の「専門実践教育訓練」施設の指定（指定期間：令和5年4月1日～令和8年3月31日）を受けており、令和6年度入学生に4名の申請者がいる。

10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行なわれているか	3	<p>*高校との連携による取組みは出来ていない。</p> <p>*職業実践専門課程の情報公開をしている。(学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会の開催、教員の研修の受講状況及び企業と連携した授業の実績報告)</p>
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
<p>特記事項 参考資料</p>	<p>*学生管理台帳</p>		

基準6 教育環境

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備され、教育に用いられているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *教育機器については学生数に対して十分対応でき、故障等に対して授業に支障の無いように即時対応している。 *歯科技工のデジタル化に伴い、CAD スキャナー（1台）、パソコン（5台）の教育機器一式を整備している。
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *企業（歯科技工所2社）及び広島県歯科技工士会と連携した実習授業を計画し、9月と11月及び2月に実施した。 *歯科技工所でのインターンシップについては、8月に1社を全員が受けた。 *2年生の研修旅行で、和田精密歯研株式会社を見学した。 *1年生が11月に歯科技工所一社を見学した。 *海外研修等については不要と考えている。
3	防災に対する体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *5月に学内において防災訓練（避難訓練、119番通報訓練、消火訓練、消火栓の使用方法、地震対策）を実施し、災害時には対応できるように備えている。 *消防・防火設備の保守点検を業者に依頼し、毎年2回（8月、3月）実施している。 *救命講習を11月1日（金）に実施した。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> *防災（防火）訓練計画書 *防火管理維持台帳 		

基準7 学生の受入れ募集

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	<ul style="list-style-type: none"> * 高校訪問校の選定及び時期と回数等の見直しを行っている。 * 高校訪問を6回（4月、5月、7月、8月、10月、1月）実施した。別途、2月には広島市内の通信制高校6校を訪問した。 * 高校訪問時には事前に面会予約を取って訪問するようにした。 * 社会人向けの募集活動について、「専門実践教育訓練」施設の指定校である旨をホームページ等で周知している。 * ネット広告（社会人対象）の広報エリアを拡大し、12月28日～1月5日に配信した。 * ホームページをスマホ対応に修正・作製し明快になった。また、新着情報を更新している。 * （一社）全国歯科技工士学校協会によりホームページ（リクルート社）が作製され、本校も紹介されている。
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	<ul style="list-style-type: none"> * 本校のホームページ、高校訪問及び学校案内等で伝えている。 * 教育成果としては、国家試験の合格率、就職状況等について広く正確に伝えている。 * ITを活用した募集活動を行う。
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	<ul style="list-style-type: none"> * 現在の物価状況等から、施設、専門機器及び設備の整備、人件費等の経費を考え妥当である。 * 近県の同じ技工士専門学校と比較しても同程度である。 * 機器・材料等の値上がりにつき、新入生の購入器具や材料費及び教本代を値上げした。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> * 学校案内 * 学生募集要項 * 広島歯科技工士専門学校ホームページ https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp 		

基準8 財務

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	<p>*経費削減に取り組み、毎年黒字化を実現し中長期的に財務基盤の安定化を目指す。</p> <p>*今年度、入学者の充足率が0.63と少し盛り返したものの、定員確保の為に学生募集に力を入れる必要がある。一方、学生募集に係る必要経費がかさんでいる。</p> <p>*修学支援新制度（確認大学）の指定要件は何とか満たしているが、経営及び充足率に係る要件を満たさなければ、指定を取り消されることになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営に係る要件：直近3年度全ての収支計算書の「経常収支差額」及び直前年度の貸借対照表「運用資産—外部負債」がプラスの必要がある。 ・充足率に係る要件：収容定員の50%以上である。 <p>*入学者の減少の為、中長期的に不安定といえる。</p>
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	4	<p>*学校法人会計基準に則り、適正に行われている。</p> <p>*予算計画は法人本部と調整し、評議員会、理事会にて承認され、概ね妥当と思われる。</p> <p>*広報活動費が膨らんでいる。</p>
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	<p>*山陽女学園の公認会計士による外部監査（年間約10回）、及び監事による財務監査が実施され、指摘事項があった場合には適切に是正措置を講じている。</p>
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	<p>*財務諸表等の情報をホームページで公開している。</p>
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<p>*財務諸表（①事業活動収支計算書、②貸借対照表、③財産目録、④監査報告、⑤事業計画）</p> <p>*広島歯科技工士専門学校ホームページ https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</p>		

基準9 法令等の遵守

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	*教育基本法、学校教育法、歯科技工士学校指定規則、専修学校設置基準および歯科技工士法等の定めを遵守し運営している。
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	*学校法人山陽女学園の個人情報適正管理規定に則り、適正に対応している。 *学生、保証人（保護者）、非常勤講師等から個人情報を取得する場合には、使用目的を明確に伝え、使用後はシュレッダーにかけて破棄している。
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	*自己点検・評価を実施し、学校関係者評価委員会において報告のうえ、提言を頂き課題及び改善等を図っている。
4	自己評価結果を公開しているか	4	*自己評価の結果を6月にホームページにおいて情報公開している。
【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> * 歯科技工士養成所指定規則 * 専修学校設置基準 * 歯科技工士法 * 山陽女学園の寄附行為 * 山陽女学園の個人情報適正管理規定 * 授業料等納入規定 * 教員研修規程 * 毒物劇物危害防止規定 		

基準10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	<ul style="list-style-type: none"> * 廿日市市主催の「歯のなんでも相談日」(6月16日開催)にスタッフとして参加し、歯科技工物の展示を行った。 * 佐伯歯科医師会主催の「ふれあい歯っぴーフェスタ」(6月9日開催)にスタッフとして参加し、歯科技工物の展示を行った。 * 職業体験として7月2日～4日に五日市南中学生4名を受け入れた。(※2日は大雨のため中止) * 地域の清掃活動を行う事を検討する。 * 学校の教育施設等を使用しての貢献ができていないので検討する。
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> * 廿日市市主催の「歯のなんでも相談日」に学生2名がボランティアで参加した。 * 佐伯歯科医師会主催の「ふれあい歯っぴーフェスタ」に学生2名がボランティアで参加した。 * 広島市歯科医師会主催の「おくちの健康展」には参加希望者がいなかったが、来年度以降も参加を奨める予定である。
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の委託等を積極的に実施しているか	2	<ul style="list-style-type: none"> * 義歯等に関する公開講座の開催を引き続き検討するが、実施するには教員のスキルアップが必要である。 * 中学生の職業体験を実施した。来年度は本校の授業日程と合わないことから見送る予定である。継続するには、教員の人員確保が必要である。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	* 本校教職員の社会活動の状況		

3. 評価項目別の評価結果

基準1 教育理念・目的・育成人材像について、適切に実施されている。

基準2 学校運営について、適切に実施されている。

基準3 教育活動について、適切に実施されている。

基準4 学修成果については、ほぼ適切に実施されている。

基準5 学生支援については、ほぼ適切に実施されている。

基準6 教育環境については、ほぼ適切に実施されている。

基準7 学生の受入れ募集については、適切に実施されている。

基準8 財務については、ほぼ適切に実施されている。

基準9 法令等の遵守については、適切に実施されている。

基準10 社会貢献・地域貢献については、やや不適切である。

4. 令和6年度 重点目標達成についての総合的な評価結果

令和7年3月26日(水) 現在

1. 教育活動について

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内 容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	1) 臨床現場の見学	* 歯科技工所見学 (1年生)	* 11月28日(木)、29日(金)に実施した。	○
		* 歯科技工所見学2社 (2年生)	* 夏季休暇中に一人2社以上の見学を実施した。(全員参加)	
		* インターン シップ (2年生)	* 和田精密歯研(株)、(株)愛歯の2社からのインターン シップ参加の依頼があり、8月に参加した。(全員参加)	
2)	特別授業	① 顎顔面補綴	* 5月21日(火)に実施した。: 愛知医科大学病院 森下裕司先生	○
		② 審美歯科	* 日程調整ができず中止した。	
		③ 歯肉材料 (セラマージュ)	* 令和7年2月25日(火)に実施した : (株)松風 沖本祐真先生	
		④ サイレンサー	* 令和7年2月21日(金)に実施した : Matsuda Oral Appliance 松田信介先生	
		⑤ インプラント、海外事情	* 令和7年1月22日(水)に実施した : デンテックインターナショナル(株) 秋山和則先生、岩瀬昌弘先生	
3)	歯科技工士国家試験対策	① 全国模擬試験 (学説) の受験	* 第1回 : 9月4日(水)に実施した。全国歯科技工士学校協会主催	○
			* 第2回 : 11月29日(金)に実施した。医歯薬出版(株)主催	
			* 第3回 : 1月6日(月)に実施した。全国歯科技工士学校協会主催	
		② 学内模擬試験 (学説・実技)	* 学内模試を2回 (2月4日(火)と2月12日(水))、本試験 (時間及び形式) を想定して実施した。その他にも複数回実施した。	
		③ 個別指導	* 必要に応じて実施した。	
2	就職活動支援	① 就職アンケート	* アンケート調査を4月に実施した。	○
		② 学内就職ガイダンス	* 4月と5月に2回実施した。	
		③ 就職個人面談	* 7月に実施した。	
		④ 学内会社説明会	* 6月3日(月)から説明会に変えて各企業のポスター掲示を行った。	

2. 入学生の確保

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	広報活動	①入学生確保の目標人数を設定 ②新聞、ネット広告の検討 ③ホームページからの情報発信 ④進学ガイダンス（業者）への参加 ⑤近隣地域へのポスター掲示依頼 ⑥SNSの活用 ⑦県外の高校へのオープン キャンパス等の案内チラシの配布の拡大 ⑧新入生にアンケート調査	＊入学定員（30人）の8割 ＊新聞広告は実施していない。 ＊ネット広告を12月28日（土）～1月5日（日）までの9日間に配信した。 ＊昨年度から、ホームページをリニューアル（スマートフォン対応）し、新着情報を更新している。 ＊4月22日（月）さんぼう主催（広島市南区民センター）に参加した。 ＊5月23日（木）キッズコーポレーション主催（安西高校）に参加した。 ＊11月15日（金）キッズコーポレーション主催（廿日市西高校）に参加した。 ＊3月17日（月）キッズコーポレーション主催（廿日市西高校）に参加した。 ＊オープン キャンパスの日程に合わせてホームセンター等に掲示している。 ＊フェイスブック、インスタグラム、X、LINE で配信している。 ＊10月に山口県北部、島根県西部、高知県の生徒一人一人に配布（事前に高校の了解を得て郵送）した。尚、短大が訪問する高校には、短大に依頼した。 ＊歯科技工士と本校を知ったキッカケや誰から情報を得たか等、今後の広報活動に活かすために実施した。	× △ ○ ○ ○ × ○
2	高校訪問	＊年間6回 （各回：広島県60校、山口県14校）	＊オープン キャンパスの開催案内に合わせて、4月、5月、7月、8月、10月、1月に訪問した。別途、職業紹介のために、2月に広島市内の通信制高校6校を訪問した。 ＊訪問校は本校を受験しそうな高校にしぼり実施している。 ＊訪問前には必ず約束を取っている。 ＊訪問校のクラス数と生徒数、担任の名前及び生徒一人一人へのチラシ配布が可能かの聞き取り調査を行った。 ＊生徒個人へのチラシ配布が可能な高校には、クラス人数分を仕分け準備して高校訪問時に持参した。 ＊沖縄県の高校に短大が訪問する際、学校案内、募集要項、オープン キャンパスの案内チラシを配布して頂いた。	○

3	オープン キャンパス等	*年間8回開催予定	*5月、6月、7月、8月(2回)、9月、11月、1月に開催した。 *今年度の参加者数は71名(個別3名を含む)である。(昨年度の参加者数47名)	○
		*イブニング説明会	*12月20日(金)に1名の申し込みも欠席、1月24日(金)は参加がなかった。 *社会人を対象とするため、19:00(約1時間)開催としている。	×
		*個別見学	*個別見学には学校行事等と調整し3名の参加があった。	○
4	高等教育の修学支援新制度(確認大学)の指定校の継続	①「職業実践専門課程」認定の継続	*自己点検、自己評価の実施 *ホームページに学校情報の公表 *学校関係者評価委員会の開催(年3回以上)と報告書の公表 *教育課程編成委員会の開催(年2回以上)と公表 *企業連携授業の実施(年3回以上):関連企業及び団体 *企業等と連携して、教員に対し専攻分野における実務研修、及び指導力の修得・向上のための研修の受講	○
		②機関要件の確保	*要件として“次の3点いずれにも該当する場合は対象機関としない。”とある。 その為に、学生確保には全力で取り組む必要がある。 a. 直前3年度全ての収支計算書の「経常収支差額」がマイナス b. 直前年度の貸借対照表「運用資産-外部負債」がマイナス c. 直近3年度全ての在籍学生が収容定員の5割未満	△
5	歯科関係団体との連携	①(一社)広島県歯科医師会	*歯科業界の情報共有 *全国歯科技工士教育協議会 中国地区ブロック会議(本校が開催当番校)の会場として歯科医師会館の施設を使用した。	○
		②(一社)広島県歯科技工士会	*歯科技工業界の情報共有 *11月8日(金)、技工士会主催の第27回カービング コンテストに参加し、金賞、銀賞を獲得した。 *会員(歯科技工所)の取引先歯科医院に、オープン キャンパスの案内ポスターの掲示に協力して頂いている。(4社) *技工士会主催の生涯研修や行事に学生が無料で参加できる。 *令和6年度、企業連携授業の協定書を取り交し、令和7年2月20日に開催した。	○
		③広島歯科技工経営者協議会	*会員(歯科技工所)の取引先歯科医院に、オープン キャンパスの案内ポスターの掲	○

			示に協力して頂いている。(8社)	
		④全国歯科技工士教育協議会	<ul style="list-style-type: none"> *全国の歯科技工士養成校の情報を共有している。 *総会が5月24日(金)にリモートで開催され、新谷校長、宮田副校長が参加した。 *中国地区ブロック会議、本校が当番校として主催した。(9月7日(土)に対面開催) 四国地区ブロック会員校は、オブザーバーとしてリモート参加した。 	○
		⑤全国歯科技工士学校協会	<ul style="list-style-type: none"> *私立学校の情報を共有している。 *新谷校長が副理事長を務めている。 *協会主催の国家試験模擬試験を年2回受験している。 *第1回理事会・総会が6月28日(金)開催。天候不良のため欠席した。 	○
		⑥日本歯科技工学会	<ul style="list-style-type: none"> *当校の基幹教員の木村教務主任が、広報委員を務めている。 	○
		⑦医歯薬出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> *医歯薬出版主催の国家試験模擬試験を年1回受験している。 *当校の基幹教員の木村教務主任が、国家試験問題と解説の作成に毎年協力している。 	○
		⑧本校同窓会	<ul style="list-style-type: none"> *卒業生の動向の把握に協力をお願いしている。 *学術、福祉の行事に無料で参加している。 	○
6	社会人の受け入れ	①教育訓練給付制度の専門実践教育訓練施設に指定(令和5年4月1日～令和8年3月31日まで)	<ul style="list-style-type: none"> *令和6年度入学生に4名の該当者がいる。 *「教育訓練給付金制度」と受給要件により「教育訓練支援給付金制度」も受けられる ダブル制度であり、4名の内3名が受給中である。 *令和7年度4月より受給割合が変更する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教育訓練給付金制度：2年間で80万円+就業すると32万円+賃金上昇があれば、 更に16万円増額の合計128万円となる。 ・教育訓練支援給付金制度：賃金日額の60%を受給できる。 *この制度を大いに宣伝し、社会人入学生の増加に力を入れる必要がある。 	○
		②専門実践教育訓練施設の指定の継続	<ul style="list-style-type: none"> *「職業実践専門課程」の認定の継続が必要であり、令和6年4月に更新された。 ・認定期間：令和6年4月1日～令和8年3月31日 (※高等教育の修学支援新制度(確認大学)の項で挙げた取り組みと同様) *学校の現況報告を、毎年7月末までにホームページ上で情報公開が義務付けられている。 	○

			る。	
--	--	--	----	--

3. 業務の見直し

	目標や計画	内 容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	教職員の業務	*検討会の開催	*必要に応じて開催する。 *成績管理システムを構築した。	△

4. 中途退学者の減少

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内 容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	学習意欲 (モチベーション) の向上	*保証人 (保護者) と連絡	*引き続き保証人 (保護者) と連絡を取る。 *10月26日 (土) 個人面談を開催した。	○
2	学業不振者への対応	*放課後の指導	*引き続き取り組む。 *試験不合格者に対して個別指導を行うとともに、頻繁に家庭と連絡をとっている。	○
3	心に病を抱えた学生への対応	*保証人 (保護者) との連携	*引き続き取り組む。	△

5. その他

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内 容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	保護者懇談会、個人面談	*毎年10月に開催	*10月26日 (土) に、懇談会は中止したが個人面談は開催した。 (1年7名、2年4名) *学校生活の状況報告と成績、及び出席状況等の通知	○
2	新型コロナウイルス等の感染対策	*令和6年度は4月から通常授業を 行った。	*検温、手指の消毒等は継続している。	○

5. 令和7年度 重点目標と達成計画

(1) 教育活動

1) 臨床現場の見学

- ① 1年：秋季に授業として歯科技工所見学（1社）の実施。
- ② 2年：夏季休暇中に2社以上の歯科技工所見学の実施。
企業開催のインターンシップへの参加

2) 特別授業

- ① 「顎顔面補綴」：愛知医科大学病院 森下裕司先生
- ② 「サイレンサー」：Matsuda Oral Appliance 代表 松田信介先生
- ③ 「セラマージュ」：(株)松風 沖本祐真先生
- ④ 「インプラント」：デンテックインターナショナル(株)代表 山下恒彦先生
- ⑤

3) 国家試験対策

- ① 国家試験問題集（学説）の宿題の実施（1年生の10月から）
- ② 全国模擬試験の参加（全国歯科技工士学校協会主催2回、医歯薬出版主催1回）
- ③ 学内学説模擬試験の実施
- ④ 学内実技模擬試験の実施
- ⑤ 個別指導の実施

(2) 入学生の確保

1) 広報活動の充実

- ①入学生の目標人数を8割位とする。
- ②新聞、ネット広告の検討
- ③ホームページからの情報発信
- ④業者による会場形式の進学ガイダンスへの参加
- ⑤近隣地域へのポスター掲示依頼
- ⑥SNSの活用

2) 高校訪問の実施

- ①専任教員が年間6～7回（4月、5月、6月、7月、8月、11月、1月頃）の訪問。
※訪問回数、訪問高校数、訪問地域の見直し
*対象は、広島県（61校）、山口県（21校）
*各回の持参物の検討（オープンキャンパス案内チラシ等）

3) オープンキャンパス等の開催

- ①年間8回の開催
- ②イブニング説明会の開催
- ③個別見学の実施（随時）

4) 高等教育の修学支援新制度（確認大学）の指定校の継続

- ①「職業実践専門課程」認定の継続
- ②機関要件の確保

※次の3点いずれにも該当する場合は、対象機関としない。

- a. 直前3年度全ての収支計算書の「経常収支差額」がマイナス
- b. 直前年度の貸借対照表「運用資産—外部負債」がマイナス
- c. 直近3年度すべての在籍学生が収容定員の5割未満

5) 歯科関係団体との連携

- | | |
|-----------------|------------------|
| *（一社）広島県歯科医師会 | *（一社）広島市歯科医師会 |
| *（一社）広島県歯科技工士会、 | * 広島県歯科技工所経営者協議会 |
| * 全国歯科技工士教育協議会 | *（一社）全国歯科技工士学校協会 |
| * 本校同窓会 | * 廿日市市 |

6) 社会人の受け入れ

- ①「職業実践専門課程」認定の継続
 - *自己点検、自己評価の実施
 - *ホームページへの学校情報の公表
 - *学校関係者評価委員会の開催（年3回以上）と報告書の公表
 - *教育課程編成委員会の開催（年2回以上）と公表
 - *企業連携授業の実施（3企業（関連団体）以上が望ましい）
 - *企業等と連携して、教員に対し専攻分野における実務研修の受講
- ②教育訓練給付制度の「専門実践教育訓練」施設指定の継続
 - *現況報告の報告と公表（5月）

(3) 業務の見直し

全教職員による見直し検討会の開催（必要に応じて）

(4) 中途退学者の減少

- 1) 学習意欲の向上を計る。
 - ①実習課題の見直し
 - ②放課後の実習指導の実施
- 2) 学業不良者への対応（放課後の指導等）
- 3) 心に病を抱えた学生への対応
- 4) 保護者との連携

(5) その他

- 1) 就職支援
 - ①学内就職ガイダンス（就職担当教員）
 - ②会社合同説明会開催の検討
- 2) 保護者懇談会、個人面談の開催
 - ①例年10月の土曜日に開催
 - ②学校の現状報告、成績表・出席状況の通知

